

【2020 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
コミュニケーション論		選択	1	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
井上 ウィマラ	B312	v.inoue	木曜日 12:00~13:00		
授業の目的・概要	<p>目的：コミュニケーションにおける非言語的の間主観的な要素について理解する。そのための基本ツールとしてマインドフルネスを身に着け、臨床における実践に備える。</p> <p>概要：同時双方向型遠隔授業により講義し、授業中に質問やコメントを受けて検討を深める。</p>				
学習上の助言	日常生活における自分のくせに注意を向けて、家族との関係を振り返ってみることが役に立つ。				
教科書	毎回資料を用意する。				
参考書	<p>スピリチュアルケアへのガイド/著:窪寺俊之、井上ウィマラ/青海社 (2009)</p> <p>ファシリテーター・トレーニング:自己実現を促す教育ファシリテーションへのアプローチ/編:津村俊充、石田裕久/ナカニシヤ出版 (2010)</p> <p>マインドフルネスストレス低減法/著:ジョン・カバットジン/北大路書房 (2007)</p>				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	非言語的コミュニケーションについて理解する。			HSU(1)	
②	コミュニケーションを促進する身振りや息づかいについて説明することができる。			HUS(2)	
③	今この自他のありようをありのままに観察することができる。			HSU(6)	
④	コミュニケーションに影響を与える家族的布置について理解し、説明することができる。			HSU(4)	
⑤	「私」を主語としたポジティブな感情の表現法を身に着ける。			HUS(5)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業の進め方とマインドフルネス I: 枠から抜け出すための自己覚知	同時双方向型 遠隔授業	マインドフルネスについて調べる。呼吸観察をどのように取り入れるかについてまとめる。	3	
2	ジョハリの窓について	同時双方向型 遠隔授業	自分の癖について考える。盲点をどのように克服するか考える。	3	
3	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて	同時双方向型 遠隔授業	非言語的コミュニケーションについて調べる。言語の分節化作用についてまとめる。	3	
4	コミュニケーションを支える身振りや息遣いについて	同時双方向型 遠隔授業	ペーシングについて調べる。布置についての学びをまとめる。	3	
5	アンガーマネジメントとアサーティブネス	同時双方向型 遠隔授業	1週間「喜びと怒り」について感情日記をつけてみる。怒りの積極的活用法についてまとめる。	3	
6	コミュニケーションを支える沈黙	同時双方向型 遠隔授業	日常生活における沈黙への反応について振り返る。沈黙の治療的可能性についてまとめる。	3	
7	マインドフルネス II: 関係性における成長のためのツール	同時双方向型 遠隔授業	燃えつきについて調べる。ストレスを成長への種に変容させる方法についてまとめる。	3	
8	まとめ: レポート作成に向けた質疑応答	同時双方向型 遠隔授業	テーマを決めて、レポート作成に向けた準備をする。	9	
試	レポート課題: 授業内容から一つのテーマを選んでまとめ、その視点からこれまでの自分を振り返り、これからの自分について展望する。				

【2020 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	20	0	0	0	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	評価についての注意点：①授業内容が正確に理解できているか、②選んだテーマの視点から自分自身の振り返りができているか、③選んだテーマの視点から今後の自分の在りたい方向性についてのべられているか、以上3つの視点から評価する。				コメントをつけて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Teams を使った同時双方向型遠隔授業を行う。授業時には、通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の状況に伴う社会情勢によって再度シラバスが変更されることがある。</p>							